

次期計画検討部会（第4回）における
主な意見等について

- (1) 企業が、もう一步川下へ踏み出そうという機運を高めることや、その手立てを支援するといった、手を添えていくような政策が必要
- (2) 次期計画は企業が使う本になるため、企業から見て、使い勝手がよいようなものにする必要がある
- (3) クラスターのような形で、しっかりとテーマを作り、企業集積を図るような仕掛けを作っていく必要がある
- (4) 県内から撤退する企業も出てきているため、その引き止め策も検討していただきたい
- (5) 大学の研究室と提携しやすい環境があることは誘致を進める上で有利にはたらくと思う
- (6) 中小企業の意識を変化させる意味で、具体的施策が重要
- (7) この県が、産業イノベーションを目指していくということであれば、政策側の改革も重要
- (8) 地域の機運を盛り上げるのであれば、課題を解決する総合的な支援ができる体制が必要
- (9) テクノ財団や中小企業振興センター、工業技術総合センターも含めて組織の改編を行い、ワンストップサービスができる産業政策が必要ではないか
- (10) 小学生、中学生、高校生をターゲットにして、ものづくりの楽しさや、興味がわくような施策を行うことは戦略上必要であり、インターンシップの実施を非常に期待している
- (11) AI、IoTなどの新しい技術については、経営者層に対し、新しい技術の導入をしっかりと意識してもらうような育成が必要
- (12) 地域や企業の深層の魅力を発信し、企業誘致や人材確保につなげてほしい